

6 ワークシートの例



【ワークシートの例について】

- このワークシートは、それぞれの展開例で活用するために作成してあります。
 - 一つの例として参考にして、児童生徒の学習経験等の実態に応じて使いやすく工夫を加えて、有効に活用してください。

もしものときにそなえて

もしもの地震にそなえて、身のまわりをしらべよう！

まず、学校にいるとき、「大地しん」がおきたら、あなたはどのような行動をしますか？

1 教室で学習しているとき

2 ろうかやかいだんにいるとき

3 トイレにいるとき

4 体育館にいるとき

5 運動場にいるとき

- 地震は、いつおきるかわかりません。みんなで学校にいるときにおきたら、どうするか話し合っ、そのときのやくそくごとを表にしてみましょう（家にいるときのぶんもつくといいよ！）

ばしょ	このときどうすればよいでしょうか？	このときのやくそくごとは
教室で学習しているとき		
ろうかやかいだんにいるとき		
トイレにいるとき		
体育館にいるとき		
運動場にいるとき		



● いざというときの備えは？

○ 家族で、話しあってみましょう！

災害時に、かぞくのみんが集まる場所やれんらく方法などを話し合い、メモしておこう！

※ さいがい用でんごんダイヤルの活用 「171」へダイヤルする。
 <メッセージの例> 「わたしは、“かながわ たろう”です。げんきでいます。
 しんせきの“よこはま はな子さん”は、この声をきいたら、かわさきこうみん
かんへ来てください。」

※ こういきひなん場所はどこにあるのかな、確かめておこう！

いま、あなたがくらしているところで、大きな「地しん」がおきたら、あなたは自分の身を守ることができますか？

また、「地しん」はどのようにおきるのか、おきたらどのように行動することが一番大事なのか、考えてみたことがありますか？

いま、大地しんがおきたら
 どのようにすればいいのかな？

学校の外にいるとき、大地しんがおきたら、あなたはどうしますか？

- 1 家にいるとき
- 2 登校や下校のとき
- 3 スーパーやデパートにいるとき
- 4 バスや電車などの、乗り物に乗っているとき

○ 地しんはいつおきるか分かりません。みんなでいろいろな場面をかんがえて、どのように行動をするのがよいか話し合っ、表をつくってみましょう。

いま、どんなところで、なにをしているのかな	まず、しなければならないことは何ですか	地しんがおさまったら、なにをするのかな
家にいるとき		
登校や下校のとき		
スーパーやデパートにいるとき		
バスや電車などの乗り物に乗っているとき		
海の近くにいるとき		
野山や川などにいるとき		
		

○ 考えよう！ 地しんからおこる^{さい}災^{がい}害から命を守るためには？

<地しんのあとにおこるもの>

- ・ 海の底で地しんが起これば()があるかも。→()
- ・ 山のしゃ面では()が起こるかも。→()
- ・ 家具の近くにいたら()くるかも。→()
- ・ 台所では()が起こるかも。→()

<命を守るための行動は？>

<命を守るためにはどんなことを心がけますか>

【日ごろの備え：学校での過ごし方】

＜地しんに備えて＞

私たちは、昼間の大部分を学校で勉強したり、遊んだりしています。地しん発生時には学校で、どのような災害が起こるかな、また、それを防ぐためにはどうしたらよいのかな、考えてみよう。

[] → []

＜けがの手当て＞

もしもの時に、私たちにできることは？

【日ごろの備え：家庭での過ごし方】

○ 一日のうちで、一番長いのは家庭にいる時間です。家族みんなで、地しんにたいする備えをしておきましょう。

＜家族で話し合った内容＞

・連絡のとりかたは？ []

・ひなん場所（集まる場所） []

・持ち物は？ []

【災害に備えた品】

非常食・飲料水・衣類・タオル・薬（常備、救急）・懐中電灯・ラジオ
乾電池・雨具・手袋・マスク・現金・ホイッスル・防災マップなど

[その他必要なものは？]

● オリジナル防災マップをつくろう！

- 私たちの住んでいる地域で**地震**が起きた場合、どのような危険があるのだろうか。

〔学習の手順〕

- 1 自宅から、学校までの通学路を確認しよう。
- 2 自宅から学校までの通学路で、危険な場所がありますか。その場所を色分けしましょう。
(建物からの落下物、ブロック塀のくずれ、土砂くずれなど)
- 3 危険と思われる場所を出し合い、お互いに確認しましょう。
- 4 地図上に学校周辺の危険をまとめてみよう！
(各班で1つのマップを作ることができたら、発表してみよう。)

『私の通学路は、ここが危険!』

【例】

- 家から〇〇地区の信号を渡った右側のブロック塀^{べい}は、危険。
→ 地震発生直後、ブロック塀がくずれてくるかもしれない、マーク。
- 国道〇〇号線の左側は、山に面している道だ。
→ 地震発生後、土砂くずれの恐れあり、色をぬろう。

【災害から身を守るために、これから気をつけることは？】

- 地震に対する学習を通して、気がついたことや心がけることなどを記入しましょう。

我が家の防災会議

- (1) 家族が、離ればなれになったときに落ち合う場所
- (2) 非常時の連絡方法
- (3) 非常時の持ち出し品（持ち出せる人が）
- (4) 避難場所の確認
- (5) 家の中の安全点検（責任分担）
- (6) 出かけるときの約束
- (7) 非常時に役立つ物
- (8) 災害時に、学校へ子どもを迎えに行く方法
- (9) 家族の役割分担
- (10) 家の近くで、危険な場所の確認

<家族で話し合った内容>

- ・連絡のとりかたは？ []
- ・落ち合う場所は []
- ・避難場所は []
- ・持ち物は？ []

【災害に備えた品】

非常食・飲料水・衣類・タオル・薬（常備、救急）・懐中電灯・ラジオ

乾電池・雨具・手袋・マスク・現金・ホイッスル・防災マップなど

その他の備品

[]

- 私のできること、しなくてはならないこと。

[]

○ 大地震発生後の被災地は、どのような状況でしょうか。

【衣・食・住の状況は】

【学校の状況は】

【けがの状況は】

<資料>兵庫県南部地震の概要（気象庁発表）

- ・ 震源の深さ：16 Km、 規模：マグニチュード7.3
- ・ 震度：神戸市を中心に震度7～6
- ・ 死者：6,433人、行方不明3人、重傷10,683人、軽傷33,109人
- ・ 家屋被害：全壊104,906棟、186,175世帯、半壊144,274棟、274,182世帯
- ・ 火災による被害：全焼6,982棟、半焼89棟、その他、部分ぼや含め7,483棟
- ・ ライフラインの被害：停電260万戸、ガス停止85万戸、断水127万戸
- ・ 下水道被害260Km、電話交換機系28万5千回線、加入者系19万3千回線

○ 中学生としてできることは？

* 被災地では、負傷した人の手当てや衣食住の関係、学習の再開等で苦慮しています。

わたしたちも、地域での防災活動に積極的に参加することが大切です。

<調べてみよう>

◇ 私の住んでいる地区では、このような防災活動が行われています。

◇ 地域の防災訓練等に参加した感想

地域社会に貢献できることについて考えよう！

1 大地震発生！そのときあなたはどのよう行動しますか？

【学校にいるとき】

【登下校中】

【家にいるとき】

【街中にいるとき】

2 災害ボランティアで高校生としてできることは？

★ ブレインストーミングで、アイデアを出し合おう！

【ブレインストーミングの4つの原則】

- ① 批判をしない
- ② 奔放なアイデアを歓迎する
- ③ 質より量を重視する
- ④ 他のアイデアを修正、改善、発展、結合する

★ グループで出し合ったアイデアをまとめよう！

地域防災訓練評価票

★ 今回の訓練の目標（こんなふうに取り組んで、こんな自分になりたい！）

★ 活動の内容

★ 活動を振り返り、自己評価しよう！

A = 十分に達成できた B = おおむね達成できた C = 達成できなかった

No	評価項目	ABC
1	事前に立てた目標は達成できましたか。	
2	地域の防災活動に今までよりも関心が高まりましたか。	
3	地域の方々と交流を深めることができましたか。	
4	活動に自分から進んで取り組むことができましたか。	
5	自分に与えられた役割を果たすことができましたか。	
6	実践に役立つスキルが身に付きましたか。	

☆ 活動に参加した感想を書こう！

☆ 自己評価を生かして、今後の意気込みを書こう！